

かみさと



学校教育目標

豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ

㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

令和7年1月31日(金) 2月号

さいたま市立上里小学校 学校だより

発行者 校長 藤田 敦

〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地

TEL048-794-2316

互いにできることをできるだけ

校長 藤田 敦

寒い日が続いておりますが、児童は元気いっぱい活動してくれています。各家庭における児童の体調管理、防寒対策等、ありがとうございます。

さて、右の写真は、昨年末に改修工事がなされ、学校敷地と側溝との段差がなくなり、安全かつきれいなグリーンベルトが敷かれた正門前の道路です。学校敷地外であるため、学校内の施設等の改修要望(毎年改修が必要な箇所、優先順位等の要望書を提出しています。)ではお願いが難しい箇所でした。そのことを知った地域の方が、直接区役所等へ嘆願に行かれ、児童の安全第一を考え、改修の必要性を訴えてくださいました。対応して下さった担当課の方々も真摯かつ迅速に対応してくださり、改修へとつながりました。段差がなくなり、これまでのようにつまずいて転ぶ児童もおらず、安全に正門へと入れるようになったことに地域の方、改修工事に携わってくださった方々への感謝の気持ちでいっぱいです。



2枚目の写真は、清掃活動時の様子です。本校は、クラスごとではなく、1~6年生がグループとなって異年齢集団での清掃活動を行っています。高学年児童が中心となって、一生懸命取り組んでいます。廊下掃除を見ていると、教室と教室の間をどちらの担当グループもていねいにほうきで掃き、雑巾がけをしていました。廊下にここまでという線はありませんので、ともするとお掃除がされない箇所もあります。しかし、本校の児童は、「ここまで」以上の範囲を互いに掃除してくれています。ですから、その箇所が一番輝いて見えます。



道路改修の話題と清掃活動の話題に何の関連性があるのかといいますと、責任の所在が曖昧になる事柄こそ、互いに意識し、行動化することが大切であるということです。よりよい児童の育成のためには、学校、家庭、地域が連携することが特に今の教育において不可欠であります。当然ながらそれぞれの立場でできることを最大限に行うことが土台となりますが、時として、どちらが担うことなのかという空白が生じることもあろうかと思えます。より良い児童の育成、成長を共に願うその空白を今後、さらに小さくしていければと考えております。

残り、2ヶ月となりましたが、今月もどうぞよろしくお願いいたします。